

三中だより

令和5年度 10月号



令和5年10月6日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 No. 9)
校長 小柴 憲一

ファインダー越しに見る子どもの姿から学ぶ ～連合体育大会～

9月22日(金)に総合優勝で終わった今年度の連合体育大会。

とてもうれしいことですが、私は競技をしている子どもたちから学ぶものが多いと感じました。

私は記録写真を残すためにカメラのファインダー越しに競技をしている子どもの姿を見ることが多かったのですが、ファインダー越しに見ているとその対象の子どもだけを見ており、表情の変化から筋肉の動きまでをしっかりと目に焼き付けることができました。

もっている自分の力を最大限に発揮するために、極度な緊張感を力に換えようとし、周囲の目を気にせず全力を出し切っている姿は、私たち大人が忘れかけていたものではないでしょうか。「一生懸命はかっこいい」。本校ではそんなペップトークがありますが、まさにその通りです。

大人になるとともに、仕事以外に健全な家族生活を維持することや私的な趣味でストレスを緩和することなど、やるべきことが多くなり、緊張している姿を人に悟られようとしなくなり、一つのことに10割の力を出し切ろうとはせず余力をもたせようとするようになります。ですから、ファインダー越しに見るような子どもたちの純粋なカッコよさを忘れかけてしまっているのではないかと思います。

子どもたちの活躍を応援する人はたくさんいますが、大人たちの頑張りを注目するような人は少なくなります。しかし、誰かに評価されようと考えず、目の前の課題に対して10割の力で集中して取り組む経験もしてみたらどうでしょうか。忘れかけていた「一生懸命はかっこいい」を自分自身で思い出し、自己肯定感が高まっていくかもしれません。そして、それが大人として果たすべき様々な役割に関して好循環をもたらすことになるかもしれません。私は、子どもたちからそんなことを学びました。



人生は常に入り口探し

人生の中には様々な節目がありますが、その節目ごとに「終わった」という感想だけでいると、次へのステップに進めなくなります。就職、結婚、第一子誕生、子どもの独立、定年退職、…いずれも次の入り口を探す姿勢で生きていきたいものです。

3年生は、卒業という出口に向かっていきますが、進路決定を出口と考えてしまうと、進学後の学習・部活動・生徒会活動・行事への取り組み・交友関係の構築など様々な点で、目的意識を失うなどの支障が出てきてしまいます。

そこで、9月25日の全校朝礼では、以下のような話を子どもたちに向けてしました。

おはようございます。

今日は、皆さんには考えながら聞いてほしいこととお話します。

それは「出口」か「入り口」か、ということです。

ちまたでは、「中学校は出口教育があるからな」という言葉を聞くことがあります。これは、義務教育を終えて、卒業と同時に進路先を決める指導の意味だと思います。

でも考えて下さい。進路先は出口なのでしょう。

確かに、卒業とともに次の段階にステップするので、中学校からの出口と捉えることもできるでしょう。しかし、卒業生一人一人にとっては、出口ではないと思うのです。次の入り口にしか過ぎないではありませんか。

人は、常に次の入り口を探し求めながら生きていくのです。高校を卒業したあともそうです。就職するときも、結婚するときも、子どもが生まれたときも、子どもが扶養家族から外れてひとり立ちしたときも、定年になって退職するときも、それらは全て次の入り口なのです。そこからどうするかが求められているし、そこからどうするかによって次の入り口も変わってくるのです。

3年生の皆さんは、1学期の成績を見て、夏休みに入って三者面談を実施し、具体的に進路先を考えている人もいます。中には、夢と現実のギャップに悩んでいる人もいます。しかし、「出口」と考えた瞬間、その進路先に進むことがゴールとなってしまう、そこで思考は止まってしまうのです。

ある有名国立大学に合格することを目標に勉強してきて、それを実現させて入学したあと、自分はそのから何をやったらいいのかわからなくなってその大学を中退したというエピソードを聞くことがあります。「出口」を追い求めていくとそうなることもあるのです。

希望の上級学校に合格できそうな人、それが出口ではありません。その入り口を経てどうしたいのかを考えて下さい。

希望の上級学校に現実的に手が届きそうもない人、上級学校卒業後にどうなりたいのかを考えたとき、違う入り口はありませんか。必ずあるはずですよ。

つまり、次の次を考える、いや、次の次の次を考える、常に自分の人生の未来の理想を描きながら入り口探しをすれば、プロセスは一通りではなく、いくつもあるはずなのです。ですから、中学校卒業後の入り口は幾通りも考えられるということなのです。

これらを考えて入り口探しをした人は、きっと面接でも、生き生きと将来に目を輝かせたい回答ができるはずなのです。

3年生の中には、親や親戚からの期待の重圧に耐えている人もいるかもしれません。そのような人は、一旦、それらの圧を全て捨てて、「自分はどうしたいのか」「自分が真に求める入り口は何なのか」を純粹に考える時間を取ってみて下さい。そして、その純粹な自分の気持ちと、今まで期待に押しつぶされそうでつらかった思いを親に伝えてみて下さい。親は子どものことを第一に考えますから、きっと理解してくれると思います。

今日、私が話した内容は、出口教育ではありません。入り口教育です。

1年生の皆さんが部活動に入部したのも入り口です。2年生の皆さんがこれから三中の中心となって本部役員や委員会や実行委員になるのも入り口です。求められるのはそのあとのことだということを忘れないで下さい。

以上で私の話を終わります。

3年生のお子さんをもつ保護者の皆様、お子さんの感じるままを尊重してみたいかがでしょうか。「こうあるべきだ」というお考えは置いておいて。

コロナ明け2年目となる輝汐祭(舞台の部)

昨年度はコロナ禍により、輝汐祭(舞台の部)を開催したものの、保護者・地域の皆様にはライブ配信でご覧いただく結果となりました。ただし、その映像や音声が思わしくなく、視聴されていた皆様にはかえって不快な思いをさせてしまったことと思います。

今年度は、密にはなりますが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が移行されたこともあり、ご来校いただいてご覧いただくと思います。ただし、体育館内では、立ち見となりますことをあらかじめご了承下さい。また、体育館外にモニターを準備する予定ですので、子どもの発表の切り替えなどで、保護者の皆様自身が体育館の場所の入れ替えにご協力いただければと思います。

現在計画しているプログラムは、以下の通りとなります。

8時45分開始予定

1 三組発表	9 1年E組合唱	昼食	24 書道部発表
2 開会式	10 1年B組合唱	17 3年D組合唱	25 美術部発表
3 1学年発表	11 1年A組合唱	18 3年B組合唱	26 箏曲部発表
4 2学年発表	12 1年C組合唱	19 3年C組合唱	27 ウクレレ部発表
5 3学年発表	休憩	20 3年E組合唱	準備
6 防災部発表	13 2年D組合唱	21 3年A組合唱	28 吹奏楽部発表
準備・休憩	14 2年C組合唱	休憩	休憩
7 全校合唱	15 2年B組合唱	22 英語科発表	29 表彰・閉会式
8 1年D組合唱	16 2年A組合唱	23 英語部発表	

15時30分終了予定

これらは、現在の案であり、正式にプログラムを編成する際は変更されていることもありますのでご参考までにお示しさせていただきました。

また、合唱の部に向けて各学級ですでに練習を行っております。

各学級の自由曲は以下の通りです。

1年A組	大切なもの	2年A組	HEIWA の鐘	3年A組	春に
1年B組	My Own Road	2年B組	永遠のキャンパス	3年B組	手紙
1年C組	絆	2年C組	明日へ	3年C組	予感
1年D組	マイバラード	2年D組	輝くために	3年D組	青葉の歌
1年E組	変わらないもの			3年E組	あなたへ

2・3年生は、去年の3年生の合唱を目の当たりに見て聴いています。

特に、3年生は、去年の3年生を超えようという意欲が高いようで授業への取り組みにも熱が入っているようです。

去年、会場で私が受けた感動を、今年は保護者の皆様にも感じていただけたらと願っています。

令和5～6年度の生徒会本部のスタート

10月2日(月)に生徒会本部役員候補者立会演説会と選挙がありました。

今年度は決戦投票がなく、信任投票で本部役員が決定しましたが、各候補者の前向きでやる気に満ちた演説はとても頼もしく感じました。

今後、各専門委員も学級で決められ、中央委員会組織も立ち上がってきます。

3年生は一線を退きます。しかし、2年生を中心に、最初は戸惑いながらも、生徒会員の声に傾聴したり、生徒会の改善すべき課題について委員会や係などを活用したりして、自治の力で誰もが過ごしやすい第三中学校を作っていくってほしいと思います。

自治活動が活発で適正に機能している学校は、いじめが起きにくく、不正行為も起きにくいものです。逆に言えば、いじめが頻繁に発生したり不正行為がまかり通ったりする学校は生徒会本部が機能していない飾り物ということになります。

この1年間の生徒会本部は立派な功績を残しました。

是非、それを受け継ぐとともに、さらに発展させた三中生徒会本部を作っていくって下さい。

<生徒会本部組織>

役職	年組	氏名
会長	2-D	丸谷 周
副会長	2-C	二藤部 陽織
	1-C	武藤 琉花
書記	2-A	竹内 春花
	1-B	岡寄 愛
庶務	2-A	伊藤 舞帆
	1-C	伊東 ステファニー

お知らせ

- 令和5年度中学生の「税についての作文」審査において以下の成績を収めました。

年	氏名	作品名	受賞内容
3	高橋 ゆい	私の弟と税金	(上部団体上申中)
3	近藤 美羽	家族を支える税金	(上部団体上申中)
3	高橋 美安	受験生だからこそ実感した税のありがたさ	六団体協議会会長賞
3	保科 菜月	歴史から見る「税」の変化	荒川区納税貯蓄組合連合会会長賞
3	原田 匠実	税によって緩和されている経済格差	荒川区納税貯蓄組合連合会奨励賞
3	柴田 紗都	税	荒川区納税貯蓄組合連合会奨励賞
3	芳沢 愛香	歴史から見る「税」の変化	荒川区納税貯蓄組合連合会奨励賞

- 令和5年度荒川区中学校新人大会バレーボールの部で以下の成績を収めました。

第3位(ブロック大会出場)

- 10月7日(土)に開催される南千住第二幼稚園運動会に、以下の子どもたちがボランティアとして応募しました。

2年 荒巻 大和、桑田 悠愛、和田 安粋、河上 莉子、大森 藤子、片倉 湊智、
矢嶋 優亜